



Release

フランクフルト・アム・マイン

2017年2月2日

ドイツ銀行、2016年通年において14億ユーロの純損失計上するも、コア自己資本比率は11.9%に

ドイツ銀行CEOのジョン・クライアンは次のように述べています。「2016年通年の業績は、改善と刷新を目的として当行が実施している重要な経営上の施策や、当行に関する市場の動揺の影響を大きく受けました。極めて困難な1年でしたが、当行はその底力を証明することができました。強固な自己資本比率と流動性比率をもって2016年を終了することができたことは喜ばしいことです。良好な滑り出しを見せた2017年については、見通しは明るいと考えています。」

自己資本比率は過去12四半期中で最高水準

- 2016年末におけるコア自己資本比率（完全適用ベースによる普通株式等Tier 1資本比率）は、2016年第3四半期末の11.1%から上昇して11.9%となり、過去12四半期中で最高水準となりました。
- 2016年末の完全適用ベースによる普通株式等Tier 1資本は、2015年末から3%減少し、427億ユーロでした。
- 利用可能な総損失吸収力（TLAC）の想定額は、1,160億ユーロでした。
- 2016年末のリスク・ウェイトド・アセット（RWA）は、2015年末から390億ユーロ減少して、3,580億ユーロとなりました。これは主に、非中核事業部門（NCOU）および中核事業部門における資産の処分やリスク低減によるものです。
- 2016年末の流動性準備金は、2016年第3四半期末の2,000億ユーロに対して、2,180億ユーロとなりました。

通年の収益は減少

- 2016年第4四半期の純収益は、前年同四半期から6%増加し、71億ユーロとなりました。
- 2016年通年の純収益は、厳しい市場環境、長引く低金利環境、当行独自の厳しい状況および当行ストラテジーの実施の影響により、2015年通年から10%減少して300億ユーロとなりました。

通年のコストが減少

- 2016年第4四半期における調整済コストは、前年同四半期から9%減少し、62億ユーロとなりました。
- 2016年通年の調整済コストは、前年から6%減少し、247億ユーロでした。
- 2016年第4四半期の利息以外の費用は、前年同四半期と同水準の90億ユーロでした。これには訴訟費用およびアビーライフの売却に伴う減損費用26億ユーロが含まれています。
- 2016年通年の利息以外の費用は、主に訴訟費用および減損費用が減少したことにより、前年から24%減少し、294億ユーロとなりました。
- 2016年通年の報酬費用は、前年から14億ユーロ、率にして11%減少しました。

業績はストラテジー実施関連コストを反映

- 2016年第4四半期の純損失は、2015年第4四半期の純損失21億ユーロに対し、19億ユーロでした。
- 2016年通年の純損失は、2015年の純損失68億ユーロに対し、14億ユーロでした。
- 2016年第4四半期の税引前損失は、24億ユーロでした。これには、アビーライフの売却に関連するのれんおよびその他の無形資産の減損費用（10億ユーロ）、訴訟費用（16億ユーロ）、

再編および退職費用（1億ユーロ）、NCOUのリスク低減費用（1億ユーロ）の合計29億ユーロならびに資産の処分による利益8億ユーロが含まれています。

- 2016年通年の税引前損失は、8億ユーロとなりました。これには前述の項目に関連する費用58億ユーロならびに資産の処分による利益10億ユーロが含まれています。

2016年の成果

- 非中核資産のリスク削減が実質的に完了し、NCOUは予定通り廃止されました。
 - 2012年のNCOUの設置以来、RWAは約1,200億ユーロ削減され、訴訟費用控除前のコア自己資本比率に約200ベースポイント寄与しました。
- 資産の処分の一環として、華夏銀行の持ち分、アビーライフおよび米国の個人顧客サービスを売却しました。
- 係争中の訴訟事案において、米国司法省（DoJ）との和解を含め、解決に向けた進展がありました。
- デジタル化を進め、技術を向上させました。
 - フランクフルトにデジタル・ファクトリー、ダブリンにデータ・ハブを開設しました。
 - マルチバンキング統合アプリケーションの提供を開始しました。
 - 顧客によるモバイルバンキング・アプリケーションのダウンロード数が、年末までに270万件を超えました。
 - 主要なオペレーティング・システムおよび耐用年数を過ぎたコンポーネントを約15%削減しました。
- 強固なクライアント基盤を維持しました。
 - 顧客のデットファイナンスおよびエクイティファイナンスにおいて、3,800億ユーロの資金調達をサポートし、取引総額3,200億ユーロ（公表ベース）のM&A取引のアドバイザーを務めました。
 - 手数料ベースで2016年のトップ10にランクされたコーポレート・ファイナンス案件（出所：ディールロジック）のうち7件において、主導的役割を果たしました。
 - 2018年に向けたリスク削減戦略を進めつつ、当行は債券セールス&トレーディングの業務提供において第5位以内（出所：コアリション¹）を維持しました。
 - 欧州における個人顧客ネットワークの改革を着実に進めました。
 - ドイツ・アセット・マネジメントにおいて、上場投資信託（ETF）の募集を拡大しました。
- 管理体制（コンプライアンスおよび金融犯罪対策）の拡充のため、2016年には350人以上を新規に採用し、2017年にはさらに600人強の新規採用を予定しています。これにより2年間で約60%の増員となります。
- 米国中間持ち株会社DB USAコーポレーションを設立しました。

グループ業績

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2016年 第4四半期	2015年 第4四半期	増減	2016年通年	2015年通年	増減
純収益	7,068	6,642	426	30,014	33,525	(3,511)
信用リスク引当金繰入額	(492)	(380)	(112)	(1,383)	(956)	(427)
利息以外の費用	(8,992)	(8,967)	(25)	(29,442)	(38,667)	9,225
税引前利益(損失)	(2,416)	(2,704)	288	(810)	(6,097)	5,287
純利益(損失)	(1,891)	(2,125)	234	(1,356)	(6,772)	5,416
RWA(完全適用ベース、単位:十億ユーロ)	358	397	(39)	358	397	(39)
1株当たり有形純資産(単位:ユーロ)	36.33	37.90	(1.57)	36.33	37.90	(1.57)

¹ コアリション社によるドイツ銀行の行内における組織体制および提供商品に関する分析に基づいています。

利息以外の費用

特記表示がない限り 単位:百万ユーロ	2016年 第4四半期	2016年 第3四半期	2016年 第2四半期	2016年 第1四半期	2015年 第4四半期	2015年 第3四半期	2015年 第2四半期	2015年 第1四半期	2016年通年	2015年通年
利息以外の費用	8,992	6,547	6,718	7,184	8,967	13,224	7,798	8,678	29,442	38,667
内:										
のれん/無形資産の減損	1,021	(49)	285	0	6	5,770	0	0	1,256	5,776
訴訟費用	1,588	501	120	187	1,238	1,209	1,227	1,544	2,397	5,218
保険業務に係る費用	88	167	74	44	122	(29)	10	153	374	256
再編および退職費用	114	76	207	285	790	63	45	67	681	965
調整済コスト	6,181	5,852	6,032	6,668	6,811	6,210	6,516	6,914	24,734	26,451
費用/収益比率	127%	87%	91%	89%	135%	180%	85%	84%	98%	115%
報酬比率	40%	39%	40%	40%	47%	45%	38%	33%	40%	40%

注 四捨五入されているため、合計が一致しない可能性があります。

解説

2016年第4四半期の**グループ全体の純収益**は、前年同四半期から6%増加し、71億ユーロとなりました。この収益には、華夏銀行に対する当行持ち分の売却益8億ユーロが含まれています。この売却益を除くと、収益は5%の減少となりました。

2016年通年の**グループ全体の純収益**は、前年から10%減少し、300億ユーロとなりました。この減収は、厳しい市場環境や継続する低金利環境により当行の事業がマイナスの影響を受けたことによるものです。また、ストラテジー2020の実施の一環としての特定事業の縮小または撤退や、2016年10月のRMBSに関する当行とDoJとの和解に関する報道も、収益に悪影響を及ぼしました。

2016年第4四半期の**グループ全体の信用リスク引当金繰入額**は、前年同四半期から30%増加し、4億9,200万ユーロとなりました。この増加は主に、コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング（CIB）において船舶ポートフォリオに係る引当金繰入額が増加したことによるものです。

2016年通年の**グループ全体の信用リスク引当金繰入額**は、前年から45%増加し、14億ユーロとなりました。この増加は主に、マクロ経済環境の悪化が船舶セクター、石油およびガスセクターならびに金属および鉱業セクターに影響を及ぼしたことによるものです。

2016年第4四半期の**グループ全体の利息以外の費用**は、90億ユーロとなりました。これには、主にRMBSに関する当行とDoJとの和解に関連する16億ユーロの訴訟費用や、アビーライフの売却に関連するのれんおよびその他の無形資産の10億ユーロの減損費用が含まれています。

2016年通年の**グループ全体の利息以外の費用**は、主に訴訟費用および減損費用の減少を受けて、前年から24%減少しました。調整済コストは、業績連動報酬の減少を反映して、前年から6%減少し、247億ユーロとなりました。

2016年第4四半期の**グループ全体の純損益**は、前年同四半期には21億ユーロの純損失であったのに対し、19億ユーロの純損失となりました。これは主に、16億ユーロの訴訟費用や10億ユーロののれんおよびその他の無形資産の減損費用を反映したものです。

2016年通年の**グループ全体の純損失**は、14億ユーロとなりました。これには、43億ユーロの再編および退職費用、訴訟費用ならびに減損費用が含まれています。

自己資本およびレバレッジに関する事項

特に表示がない限り 単位:十億ユーロ	2016年12月31日	2016年9月30日	2015年12月31日
普通株式等 Tier 1 資本比率(CRR/CRD4 完全適用ベース)	11.9%	11.1%	11.1%
リスク・ウェイトド・アセット(CRR/CRD4 完全適用ベース)	358	385	397
資産合計(IFRS)	1,591	1,689	1,629
CRD 4 レバレッジ・エクスポージャー (CRR/CRD4 完全適用ベース)	1,348	1,354	1,395
レバレッジ比率(CRR/CRD4 完全適用ベース)	3.5%	3.5%	3.5%

注 2016年第4四半期のCRR/CRD4段階的導入ベースによる普通株式等Tier 1資本比率は13.5%、リスク・ウェイトド・アセットは3,560億ユーロ、レバレッジ比率は4.1%でした。

解説

当行の2016年第4四半期末現在の**普通株式等Tier 1 (CET1) 資本比率**は、同年第3四半期末から上昇して、CRR/CRD4完全適用ベースで11.9%となりました。2016年第4四半期末現在のCET1資本(CRR/CRD4完全適用ベース)は同年第3四半期末から2億ユーロ減少し、427億ユーロとなりましたが、これは、2016年第4四半期の損失が、華夏銀行に対する当行持ち分の売却益や外国為替のプラスの影響によりほぼ相殺されたことによるものです。

一方で、リスク・ウェイトド・アセット(RWA、CRR/CRD4完全適用ベース)は、2016年第3四半期末から270億ユーロ減少し、2016年第4四半期末現在では3,580億ユーロとなりました。これは主に、アピーライフの売却や華夏銀行に対する当行持ち分の売却、CIBにおけるRWAの最適化およびNCOUにおけるリスク削減の取組みによるものです。

2016年第4四半期末現在の**CRD4レバレッジ比率**は、同年第3四半期末から変わらず、CRR/CRD4完全適用ベースで3.5%でした。2016年第4四半期末現在のレバレッジ・エクスポージャーは、事業資産におけるレバレッジの解消が外国為替のマイナスの影響によって一部相殺されたことにより、同年第3四半期末からわずかに減少し、1兆3,480億ユーロとなりました。

部門別業績

グローバル・マーケット (GM)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2016年 第4四半期	2015年 第4四半期	増減	2016年通年	2015年通年	増減
純収益	1,464	1,502	(38)	9,290	10,857	(1,567)
セールス/トレーディング(株式)	428	557	(129)	2,502	3,337	(835)
セールス/トレーディング(債券 およびその他商品)	1,381	1,245	136	7,339	8,215	(876)
信用リスク引当金繰入額	(58)	(43)	(15)	(142)	(50)	(92)
利息以外の費用	(2,142)	(2,412)	271	(9,084)	(12,599)	3,515
非支配持分	(1)	(0)	(1)	(47)	(26)	(22)
税引前利益(損失)	(737)	(954)	217	16	(1,817)	1,833
RWA(完全適用ベース、単位:十億ユーロ)	158	161	(3)	158	161	(3)

解説

2016年第4四半期の**GMの純収益**は、前年同四半期から3%減少し、15億ユーロとなりました。債券およびその他商品のセールス／トレーディングの収益は、特に米国における当行のクレジット・ビジネスの好調や、アジア・パシフィック・ローカル・マーケットが堅調であったこと、および米国の大統領選前後における顧客取引の活発化による外国為替からの収益を受けて、前年同四半期から増加しました。株式セールス／トレーディングの収益は、デリバティブの増収により一部相殺されたものの、顧客取引の減少や顧客残高の減少を受けて、前年同四半期を下回りました。

GMの収益は、当行独自の要因によりマイナスの影響を受けました。2016年10月のRMBSに関する当行とDoJとの和解に関する報道は、顧客残高、取引活動および資金調達コストに悪影響を及ぼしました。

2016年通年のGMの純収益は、前年から14%減少し、93億ユーロとなりました。この減収は、特にエクイティにおける厳しい市場環境や、2016年第4四半期に発生した当行独自の要因、およびストラテジー2020の一環として一部の収益分野から撤退する決定を行ったことを反映したものです。

2016年第4四半期の**GMの信用リスク引当金繰入額**は、前年同四半期から1,500万ユーロ増加し、5,800万ユーロとなりました。2016年通年のGMの信用リスク引当金繰入額は、主に金属および鉱業セクターならびに商業用不動産セクターにおける増加を受けて、前年から9,200万ユーロ増加し、1億4,200万ユーロとなりました。

2016年第4四半期の**GMの利息以外の費用**は、訴訟費用が増加した前年同四半期から11%減少し、21億ユーロとなりました。減少のその他の主な要因としては、報酬費用の減少および外国為替の影響がありました。

2016年通年のGMの利息以外の費用は、前年から28%減少し、91億ユーロとなりました。これには、9億ユーロの訴訟費用および減損費用が含まれています。2015年通年のGMの利息以外の費用には、42億ユーロの訴訟費用および減損費用が含まれていました。これらの影響を除くと、2016年通年のGMの利息以外の費用は、前年から3%減少しました。

コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング (CIB)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2016年 第4四半期	2015年 第4四半期	増減	2016年通年	2015年通年	増減
純収益	1,807	1,770	37	7,483	8,047	(564)
信用リスク引当金繰入額	(244)	(163)	(82)	(672)	(342)	(330)
利息以外の費用	(1,258)	(1,297)	39	(5,119)	(6,266)	1,147
税引前利益	304	310	(6)	1,691	1,439	252
RWA(完全適用ベース、単位:十億ユーロ)	80	86	(6)	80	86	(6)

解説

2016年第4四半期の**CIBの純収益**は、前年同四半期から2%増加し、18億ユーロとなりました。

コーポレート・ファイナンスの収益は22%増加しました。この増収は、債券オリジネーションが好調であったことや、アドバイザーにおいて改善が見られたことによるものです。この増収は、長引くマクロ経済要因に加え、現在進められているポートフォリオ管理施策および顧客基盤の見直しにより、主に貿易金融および事業法人向けキャッシュ・マネジメントにおいてトランザクション・バンキングの収益が8%減少したことによって、一部相殺されました。金融機関向けキャッシュの

収益は、引き続き現在実施されている事業基盤の見直しや、一部の国からの撤退の影響を受けることとなりました。

2016年通年のCIBの純収益は、前年から7%減少し、75億ユーロとなりました。コーポレート・ファイナンスでは、アドバイザーと株式オリジネーションが2016年下半期に大幅に改善した一方で、トランザクション・バンキングの収益は、欧州における低金利環境、取引高の低迷および戦略的な基盤の見直しの影響を引き続き受けることとなりました。こうした状況の下でも、マージンは同水準となりました。

2016年第4四半期の**CIBの信用リスク引当金繰入額**は、前年同四半期から8,200万ユーロ増加し、2億4,400万ユーロとなりました。この増加は主に、船舶ポートフォリオに関するものです。

2016年通年のCIBの信用リスク引当金繰入額は、船舶セクターに影響を及ぼすマクロ経済環境の悪化を反映して、6億7,200万ユーロとなりました。

2016年第4四半期の**CIBの利息以外の費用**は、前年同四半期から3%減少し、13億ユーロとなりました。2016年通年のCIBの利息以外の費用は、減損費用、訴訟費用ならびに再編および退職費用を除くと、報酬費用の減少を反映して、前年から6%の減少となりました。

プライベート・ウェルス&コマーシャル・クライアント (PW&CC)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2016年 第4四半期	2015年 第4四半期	増減	2016年通年	2015年通年	増減
純収益	2,379	1,877	503	7,717	7,510	207
信用リスク引当金繰入額	(95)	(92)	(3)	(255)	(300)	45
利息以外の費用	(1,583)	(2,311)	728	(6,394)	(7,983)	1,589
非支配持分	0	0	(0)	(0)	0	(0)
税引前利益(損失)	701	(527)	1,228	1,068	(774)	1,842
RWA(完全適用ベース、単位:十億ユーロ)	44	50	(6)	44	50	(6)

解説

2016年第4四半期の**PW&CCの純収益**は、前年同四半期から27%増加し、24億ユーロとなりました。この増収には、華夏銀行に対する当行持ち分の売却益8億ユーロが含まれています。他方、前年同四半期との比較は、2016年9月に行われた個人顧客サービスユニット (PCS) の売却による悪影響を受けています。これら2つの要因を除くと、収益は前年同四半期から7%の減少となり、これは主に、低金利環境が続いたことや、ウェルス・マネジメントおよびプライベート・アンド・コマーシャル・クライアントのいずれにおいても顧客の投資活動が低迷したことによるものでした。

2016年通年のPW&CCの純収益は、前年から3%増加し、77億ユーロとなりました。華夏銀行およびPCSの影響を除くと、収益は、低金利環境やより厳しい市場環境による顧客取引の減少を反映して、前年から7%の減少となりました。

2016年第4四半期の**PW&CCの信用リスク引当金繰入額**は、前年同四半期から3%増加し、9,500万ユーロとなりましたが、質の高いポートフォリオを反映して引き続き低い水準にとどまりました。2016年通年のPW&CCの信用リスク引当金繰入額は、前年から15%減少し、2億5,500万ユーロとなりました。

2016年第4四半期の**PW&CCの利息以外の費用**は、前年同四半期から31%減少し、16億ユーロとなりました。これは主に、再編費用の減少や、前年同四半期におけるソフトウェアの一部償却を反映したものです。

2016年通年のPW&CCの利息以外の費用は、前年は80億ユーロであったのに対し、64億ユーロとなりました。これは、再編費用の減少のほか、前年におけるのれんの減損費用やソフトウェアの一部償却の影響によるものです。これらの要因を除くと、利息以外の費用は、わずかに減少しました。継続的なコスト管理、報酬費用の削減およびPCSの売却の影響は、デジタル化のための投資や当行のストラテジー2020の実施に関連するその他の費用を相殺しました。

ドイチェ・アセット・マネジメント (Deutsche AM)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2016年 第4四半期	2015年 第4四半期	増減	2016年通年	2015年通年	増減
純収益	799	870	(70)	3,020	3,021	(1)
アビーライフを除いた純収益 ¹	712	742	(31)	2,623	2,763	(140)
信用リスク引当金繰入額	0	0	(0)	(1)	(1)	0
利息以外の費用	(1,552)	(697)	(855)	(3,223)	(2,336)	(886)
アビーライフおよび減損費用を除いた 利息以外の費用 ¹	(443)	(575)	132	(1,828)	(2,080)	252
アビーライフ	(88)	(122)	34	(374)	(256)	(117)
減損費用	(1,021)	0	(1,021)	(1,021)	0	(1,021)
非支配持分	(0)	(0)	0	(0)	0	(1)
税引前利益(損失)	(753)	173	(926)	(204)	684	(888)
RWA(完全適用ベース、単位:十億ユーロ)	9	11	(2)	9	11	(2)

1 保険契約のポジションに係る時価の変動を除いた純収益。保険業務に係る費用および減損費用を除いた利息以外の費用。

解説

2016年第4四半期の **Deutsche AM の純収益** は、アビーライフについての調整の影響を除いたベースでは、前年同四半期から4%減少し、7億1,200万ユーロとなりました。この減少は、運用報酬および取引手数料からの増収を、保証型商品の公正価値のマイナスの変動およびマネジメント・フィーの減少による減収が上回ったことによるものです。

2016年通年の **Deutsche AM の純収益** は、アビーライフの調整の影響を除くと、前年から5%減少の26億ユーロとなりました。この減少は、時価評価の変動がマイナスであったことやアクティブおよびパッシブ両方の資産が流出したことにより、マネジメント・フィーが減少したことや、保証型商品の公正価値にマイナスの変動があったことによるものです。

2016年第4四半期の **Deutsche AM の利息以外の費用** は、主にアビーライフの売却に伴う10億ユーロの減損費用の影響を受け、16億ユーロとなりました。アビーライフの影響を除くと、Deutsche AM の利息以外の費用は、主に報酬費用の減少および前年同四半期にあった特定費用項目の戻入れを行ったことを反映して、前年同四半期から減少しました。

2016年通年の Deutsche AM の利息以外の費用は、前述のアビーライフの調整と減損費用の影響を除くと、前年から減少して18億ユーロとなりました。これは主に、報酬費用の減少および前年同四半期にあった特定費用項目が戻入れされたことを反映したものでした。

ポストバンク (Postbank)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2016年 第4四半期	2015年 第4四半期	増減	2016年通年	2015年通年	増減
純収益	824	615	208	3,366	3,112	254
信用リスク引当金繰入額	(63)	(64)	1	(184)	(211)	27
利息以外の費用	(763)	(863)	100	(2,815)	(5,497)	2,682
非支配持分	(0)	(0)	0	(0)	(1)	0
税引前利益(損失)	(2)	(312)	309	367	(2,596)	2,963
RWA(単位:十億ユーロ)	42	43	(1)	42	43	(1)

解説

2016年第4四半期の**ポストバンクの純収益**は、前年同四半期から34%増加し、8億2,400万ユーロとなりました。これは主に、2015年に住宅ローンと結びついた貯蓄商品(Bauspar)契約の利息費用引当金を調整したことの影響によるものでしたが、2016年第4四半期に一部の投資証券を売却したことも影響しました。

2016年通年の**ポストバンクの純収益**は、前年から8%増加し、34億ユーロとなりました。これは主に、2015年における前述の影響が発生しなかったこと、Visa Europe Limitedの当行持ち分の売却およびその他の証券の売却によるものでした。融資残高の増加による増収により、継続する低金利環境からの影響はほぼ相殺されました。

2016年第4四半期の**ポストバンクの信用リスク引当金繰入額**は、融資残高が増加したにもかかわらず、前年同四半期とほぼ同水準の6,300万ユーロでした。2016年通年では、信用リスク引当金繰入額は2015年から13%減少して、1億8,400万ユーロとなりました。これは、ドイツにおける良好な経済環境や質の高いポートフォリオを反映したものです。

2016年第4四半期の**ポストバンクの利息以外の費用**は、前年同四半期から12%減少し、7億6,300万ユーロでした。これは、引き続きコスト削減と人員削減に注力したことや、再編および退職費用を削減したことによるものでした。再編および退職費用ならびに訴訟費用を除くと、コスト削減や戦略的イニシアティブの費用が減少したことにより、利息以外の費用は前年同四半期から8%減少しました。2016年通年のポストバンクの利息以外の費用は、2015年には26億ユーロの減損を含む55億ユーロであったのに対して、28億ユーロとなりました。

非中核事業部門 (NCOU)

特に表示がない限り 単位:百万ユーロ	2016年 第4四半期	2015年 第4四半期	増減	2016年通年	2015年通年	増減
純収益	142	(60)	202	(382)	794	(1,176)
信用リスク引当金繰入額	(31)	(17)	(14)	(128)	(51)	(76)
利息以外の費用	(1,618)	(807)	(811)	(2,701)	(3,006)	304
非支配持分	4	0	3	4	(1)	5
税引前利益(損失)	(1,504)	(885)	(619)	(3,207)	(2,264)	(943)
RWA(単位:十億ユーロ)	9	33	(24)	9	33	(24)

解説

2016年第4四半期の**非中核事業部門(NCOU)の純収益**は、リスク削減による4,000万ユーロの増収を反映して、1億4,200万ユーロとなりましたが、2016年通年では3億8,200万ユーロの損失となりました。NCOUは2016年第4四半期も引き続きリスク削減の施策を推進し、年度末のリスク・ウ

エイテッド・アセットを 100 億ユーロ未満とする目標を達成しました。その結果、独立した部門としての NCOU は廃止し、残存資産は中核事業部門に移管します。

2016 年第 4 四半期の **NCOU の利息以外の費用**は、前年同四半期から 8 億 1,100 万ユーロ増加し、16 億ユーロとなりました。これは主に多額の訴訟費用の影響によるものです。

2016 年第 4 四半期の **NCOU の税引前損益**は、主に多額の訴訟費用により、15 億ユーロの損失となりました。

本リリース記載の数字はすべて暫定的かつ未監査です。2016 年の年次報告書および Form 20-F は 2017 年 3 月 17 日に公表される予定です。

添付資料：

本資料は 2016 年第 4 四半期の補足財務データの抜粋です。

2016 年第 4 四半期の補足財務データは <https://www.db.com/ir/en/quarterly-results.htm> より入手可能です。

ドイツ銀行について

ドイツ銀行は事業法人、各国政府、機関投資家、中小企業、および個人といった顧客に対し、商業銀行、投資銀行、リテール・バンキング、トランザクション・バンキング、および資産運用の商品ならびにサービスを提供しています。ドイツ銀行はドイツ有数の銀行であり、欧州地域に強固な地位を築いているほか、米州およびアジア・太平洋地域においても大規模な事業基盤を有しています。

本リリースには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、ドイツ銀行の考えや予想、およびその基礎となる前提が含まれます。これらの記述は、ドイツ銀行グループの経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。従って、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在のものであって、当グループはこれらの記述に関して、新しい情報や将来生じた事象があっても、これを更新して公表する責任は負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。従って、いくつかの重要な要因が作用して、実際には将来の事象に関する記述に含まれるものとは大きく異なる結果となる可能性があります。これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国および当グループが収益の相当部分を上げ、資産の相当部分を有するその他の地域における金融市場の動向、資産価値の推移および市場のボラティリティ、借り手または取引相手による将来の債務不履行、当グループの経営戦略の実施、当グループのリスク・マネジメントの方針、手続および方法への信頼性、ならびに米国証券取引委員会（SEC）への情報開示に関連するリスク等が含まれます。このような要因については、SECに提出した当グループの2016年3月11日付年次報告書（Form 20-F）の「リスク・ファクター」の表題のもとで詳しく記載されています。当該報告書の写しは、請求により入手可能であり、また www.db.com/ir からダウンロードすることができます。

本リリースには、IFRSに準拠しない財務情報が含まれています。本リリースに記載のないIFRSに基づく数字との比較には、補足財務データをご参照ください。

資料

ドイツ銀行グループ損益計算書（未監査）

損益計算書				
単位:百万ユーロ	2016年12月31日 に終了した3ヵ月	2015年12月31日に 終了した3ヵ月	2016年通年	2015年通年
純利息収益	3,565	3,857	14,707	15,881
信用リスク引当金繰入額	492	380	1,383	956
信用リスク引当金繰入額控除後の純利息収益	3,073	3,477	13,324	14,925
手数料およびフィー収益	2,920	2,930	11,744	12,765
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産/負債に係る純利得	(710)	(437)	1,401	3,842
売却可能金融資産に係る純利得	178	(93)	653	203
持分法適用投資による純利益	28	286	455	164
満期保有証券による純利益	0	0	0	0
その他の収益	1,087	101	1,053	669
利息以外の収益合計	3,503	2,785	15,307	17,644
給与手当	2,827	3,104	11,874	13,293
一般管理費	5,007	5,056	15,454	18,632
保険業務に係る費用	88	122	374	256
無形資産の減損	1,021	6	1,256	5,776
再構築費用	49	678	484	710
利息以外の費用合計	8,992	8,967	29,442	38,667
税引前利益(損失)	(2,416)	(2,704)	(810)	(6,097)
法人所得税費用（ベネフィット）	(525)	(579)	546	675
純利益(損失)	(1,891)	(2,125)	(1,356)	(6,772)
非支配持分に帰属する純利益（損失）	(1)	(5)	45	21
ドイツ銀行株主に帰属する純利益（損失）およびその他の資本構成要素	(1,890)	(2,120)	(1,402)	(6,794)

資料

ドイツ銀行グループ主要財務指標（未監査）

	2016年 第4四半期	2015年 第4四半期	増減 (前年同四半期比)
CRR/CRD4レバレッジ比率（完全適用ベース） ⁽¹⁾	3.5%	3.5%	0.0ppt
CRR/CRD4レバレッジ・エクスポージャー ⁽¹⁾ 単位：十億ユーロ	1,348	1,395	(3)%
普通株式等 Tier 1 資本比率 ⁽²⁾⁽³⁾⁽⁴⁾⁽⁵⁾	11.9%	11.1%	0.8ppt
リスク・ウェイトド・アセット ⁽⁴⁾⁽⁵⁾ 単位：十億ユーロ	358	397	(10)%
調整済みコスト ⁽⁶⁾ 単位：百万ユーロ	6,181	6,811	(9)%
平均株主持分合計利益率（税引後） ⁽³⁾	(12.3)%	(13.2)%	0.9ppt
平均有形株主資本利益率（税引後） ⁽³⁾⁽⁷⁾	(14.6)%	(15.7)%	1.1ppt
費用/収益比率 ⁽³⁾	127.2%	135.0%	(7.8)ppt
報酬比率 ⁽³⁾	40.0%	46.7%	(6.7)ppt
非報酬比率 ⁽³⁾	87.2%	88.3%	(1.0)ppt
純収益合計 単位：百万ユーロ	7,068	6,642	6%
信用リスク引当金繰入額 単位：百万ユーロ	492	380	30%
利息以外の費用合計 単位：百万ユーロ	8,992	8,967	0%
税引前利益（損失） 単位：百万ユーロ	(2,416)	(2,704)	(11)%
純利益（損失） 単位：百万ユーロ	(1,891)	(2,125)	(11)%
資産合計 ⁽⁴⁾ 単位：十億ユーロ	1,591	1,629	(2)%
株主持分合計 ⁽⁴⁾ 単位：十億ユーロ	60	63	(5)%
基本的1株当たり利益（損失） ⁽⁸⁾	€(1.36)	€(1.53)	(11)%
希薄化後1株当たり利益（損失） ⁽⁸⁾	€(1.36)	€(1.53)	(11)%
基本的流通株式1株当たり純資産 ⁽³⁾	€42.74	€45.16	(5)%
基本的流通株式1株当たり有形純資産 ⁽³⁾	€36.33	€37.90	(4)%
拠点数 ⁽⁴⁾	2,656	2,790	(5)%
内、ドイツ国内の拠点数	1,776	1,827	(3)%
従業員数（常勤相当） ⁽⁴⁾	99,744	101,104	(1)%
内、ドイツ国内の従業員数	44,600	45,757	(3)%
ドイツ銀行株式 株価（四半期末） ⁽⁹⁾	€17.25	€22.53	(23)%
ドイツ銀行株式 高値 ⁽⁹⁾	€18.64	€27.98	(33)%
ドイツ銀行株式 安値 ⁽⁹⁾	€11.46	€20.69	(45)%
長期格付 ⁽⁴⁾			
ムーディーズ・インベスターズ・サービス	Baa2	A3	
スタンダード・アンド・プアーズ	BBB+	BBB+	
フィッチ・レーティングス	A-	A-	

(1) 現行のCRR/CRD4規制（2015年1月17日付EU官報で公表のレバレッジ比率に関する Commission Delegated Regulation(EU) 2015/62 による改定を含む）に基づく。

(2) 2016年度について普通株式の無配当を提案するとする取締役会の決定に基づく。

(3) 比率の定義については、「Financial Data Supplement 4Q 2016（英文）」の18、19、および20頁を参照のこと。

(4) 四半期末時点

(5) 規制自己資本、リスク・ウェイトド・アセットおよび自己資本比率は、CRR/CRD4完全適用ベースに基づく。

(6) 調整済みコストの調整については、「Financial Data Supplement 4Q 2016（英文）」の17頁を参照のこと。

(7) 平均有形株主資本の調整については、「Financial Data Supplement 4Q 2016（英文）」の15-17頁を参照のこと。

(8) 本項目の利益は、2016年4月および2015年4月にその他Tier 1証券のクーポンとしてそれぞれ支払われた2億7,600万ユーロ（税引後）、2億2,800万ユーロ（税引後）につき調整されている。IAS第33号によれば、その他Tier 1証券のクーポン支払い相当額は、ドイツ銀行株主に帰属しないため、計算にあたり控除される必要がある。

希薄化後1株当たり利益には、想定される転換による分子への影響を含む。ただし、純損失の状況下では、これを含めると1株当たり損失の額を減少させることになるため、通常、1株当たり利益（損失）の計算において潜在的な希薄化後株式数は考慮されない。

(9) 株価情報の出所：ブルームバーグ（XETRAに基づく。高値および安値は日中取引最高値/最安値）。